

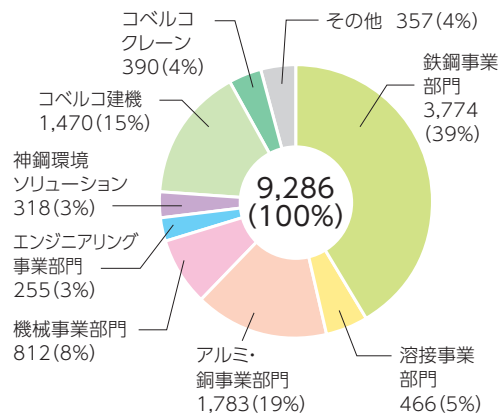
■当上半期の概況

当上半期の我が国経済は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減があった前年同期から回復し、個人消費や企業の設備投資などは緩やかな増加が継続しました。また、海外では、米国や欧州において、緩やかながら景気回復基調が継続しました。一方、中国や東南アジアにおいては、景気の減速基調が継続しました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいて、鋼材の販売数量は、造船向けの需要が堅調に推移したものの、自動車向けの需要が減少したことから、前年同期並となりました。アルミ圧延品の販売数量は、飲料用缶材の需要が増加したことなどから、前年同期を上回りました。銅圧延品の販売数量は、銅板条・銅管とも需要が減少したことから、前年同期を下回りました。油圧ショベルの販売台数は、景気減速の影響が大きい中国や東南アジアにおいて需要が大幅に減少したことから、前年同期を下回りました。

この結果、当上半期の売上高は、前年同期並の9,286億円となりましたが、営業利益は、前年同期に比べ101億円減益の470億円、経常利益は、前年同期に比べ130億円減益の330億円となりました。また、中国における建設機械事業の関連会社について投資有価証券評価損を特別損失として計上したほか、その他の関係会社についても事業評価関連の特別損失を計上しました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、繰延税金資産を積み増した前年同期に比べ、286億円減益の134億円となりました。

事業別売上高(平成27年度上半期) (単位:億円)



(注)上記円グラフの各事業の売上高の合計から、各事業間の内部売上高等の消去額343億円を差し引いた金額が、連結売上高の合計額9,286億円となります。なお、各事業別の比率は、各事業の売上高の合計をもとに算出しております。



鉄鋼事業部門

3,774 億円

(前年同期比 △2.4%)



- 鋼材販売数量：造船向け需要が堅調に推移するも、国内新車販売の前年割れなどから、自動車向け需要が減少し、前年同期並
- 鋼材販売価格：主原料価格の値下がりの影響などから、前年同期を下回る
- 鋳鍛鋼品売上高：国内造船向け需要が堅調に推移し、前年同期比増
- チタン製品売上高：前年同期比増
- 経常利益：主原料価格の下落に伴う在庫評価影響の悪化などにより、前年同期比29億円減益の75億円



加古川製鉄所 高炉



溶接事業部門

466 億円

(前年同期比 +2.2%)



- 溶接材料販売数量：国内造船向け需要が堅調に推移するも、中国・東南アジア・米国において需要が減少し、前年同期比減
- 溶接システム売上高：国内建築向け需要が堅調に推移し、前年同期比増
- 経常利益：前年同期比3億円減益の43億円



銅めっきなしノリッドワイヤ



アルミ・銅事業部門

1,783 億円

(前年同期比 +10.4%)



- アルミ圧延品販売数量：飲料用缶材の需要増、自動車向け輸出拡販効果により、前年同期比増
- アルミ鋳鍛造品売上高：海外自動車向け需要が堅調に推移し、前年同期比増
- 銅圧延品販売数量：自動車用端子や半導体およびエアコン向けの各需要が減少し、前年同期比減
- 経常利益：前年同期比33億円増益の94億円



アルミコイル



機械事業部門

812 億円
(前年同期比 +11.3%)



- 受注高：石油精製・石油化学業界向け圧縮機受注減も、海外向け大型樹脂機械案件などの受注により、前年同期並の736億円
- 当期末受注残高：1,392億円
- 経常利益：圧縮機や樹脂機械などでの競合環境激化により採算低下し、前年同期比4億円減益の28億円



樹脂混練造粒システム「LCMシリーズ」

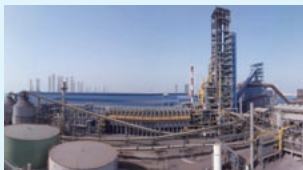


エンジニアリング事業部門

255 億円
(前年同期比 +34.2%)



- 受注高：アルジェリアでの大型還元鉄プラント案件受注などにより、前年同期比192.9%増の425億円
- 当期末受注残高：889億円
- 経常損益：前年同期比25億円増益の20億円の利益



MIDREX®プラント



神鋼環境ソリューション

318 億円
(前年同期比 +17.2%)



- 受注高：水処理関連事業での受注量増加などにより、前年同期比3.0%増の466億円
- 当期末受注残高：638億円
- 経常利益：前年同期比2億円増益の6億円



相模原市南清掃工場

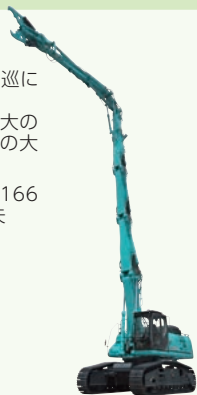


コベルコ建機

1,470 億円
(前年同期比 △13.4%)



- 油圧ショベル販売台数：前年同期比減
〔国内〕更新需要の一巡により減
〔海外〕景気減速影響大の中国や東南アジアでの大幅な需要減により減
- 経常損益：前年同期比166億円減益の4億円の損失



50トン級建物解体専用機
「SK550DLC NEXT仕様」



コベルコクレーン

390 億円
(前年同期比 +8.8%)



- 販売台数：国内需要の堅調な推移により前年同期比増
- 経常利益：製品の品質維持・改善費用増加により、前年同期比7億円減益の24億円



本格基礎土木仕様の
ベスマシン
クローラークレーン
「BM1500G」



その他

357 億円
(前年同期比 +17.2%)



- 神鋼不動産：
〔分譲事業〕引渡戸数増加
〔賃貸事業〕堅調に推移
- コベルコ科研：
〔試験研究事業〕自動車関連需要堅調に推移
- その他の事業全体の経常利益：前年同期比14億円増益の33億円



ジークレフ
須磨名谷レジデンス

(注) 枠内の数字は売上高を記載しています。